



こ
ん
な
い
寫
真



135mm F1.8 DG HSM
価格18万9000円

このふんわりした絵画のようなイメージと豊かな諧調、そして芯のしっかりした描写はFoveon X3ダイレクトイメージセンサーにのみ許された味わい深さ。これを味わうためにsd Quattro Hを選ぶ方は今後ますます豊かな人生に恵まれるはずでございます。センサーサイズにより135mmF1.8は35ミリ換算で約175mmの焦点距離となりましてこれはこれでご心地良い撮影レンズでありました。

シャッター速度・1/2500秒
絞り・f15
撮影感度ISO100
RAWデータ現像・X3Fパラメータ(中)



に
變
を
す
る



35mm F1.4 DG
価格12万7440円

きっちりシャープでコントラストに優れた描写も得意なsd Quattro H。RAWデータでの撮影を基本とするならば、一枚一枚の写真を仕上げてゆく喜びとその撮影能力の高さに驚かす。もちろんレンズもあくまでシャープなArtシリーズからAPSサイズセンサーの標準レンズ的な35mmレンズをチョイス。F1.4の大口径レンズのボケ味と立体的な描写力をぜひお試しあれ。

シャッター速度・1/800秒
絞り・f1.4
撮影感度ISO200
カメラ内RAWデータ現像カラーモード・フォレストグリーン使用



世に覇者はひとり!

レンズマウント上にまさかの電源ボタン(だが使いやすい)、最大級のモニター切替レバー(ゆえに間違えようがない)、そしてフォルダーアイコンを逆さにしたような特長のボディシルエット(唯一無二)という特長だらけのsd Quattro H。主役は常に目立つというたぐい見本。

電子寫真機戀愛

すべてはこの描写のために……

シグマ sd Quattro H

第七夜

いまデジカメ界には二極化の波が来ておるようでございます。スマホからのステップアップに適し、スマホでは撮影できない望遠効果や厚みのある描写を求めてやってきた層に向けてのエントリー一眼レフグループ。そしてもうひとつの波が中級機ではモノ足りず、ハイエンドな撮影性能を求め、突き詰めた性能を得るために追求するシビアなフラッグシップ一眼レフ勢であります。

しかし、一部のカメラたちはやや方向を変え、描写性能のみに特化してゆくグループもあります。主にペンタックスの超大型ボディの中判カメラ645Z、クラスを超越したラージフォーマットの雄、富士フィルムGFX50Sなどなど。

その中でも異彩を放っているのがこちらのシグマsd Quattro H。2016年7月に発売されたシグマsd QuattroのAPS-CサイズのセンサーをAPS-Hサイズにアップした上位機種であり、26.7×17.9mmのFoveon X3ダイレクトイメージセンサーはシグマ独自のセンサーでRGB各色を層ごとに捉える三層構造のために色補間が不要。これにより補間時における解像低下が起きず非常に解像感に優れた画像を得られると描写にこだわる愛好家に定評のデジカメでございます。このFoveon X3センサーは実際にキレッキレの解像感と独特のトーンを持っており、ひとたびこのFoveon X3ダイレクトイメージセンサーを使用したなら、なんもいえないこの忘れ難き印象の映像のトリコになると言われております。

そう、遥か遠い昔の初恋のひとを思い返すような切ない想いかられるような感じの描写……といったら男子諸君が「……ああ、そういうそんなこともあったなあ」と頷いてもらえたのなら、描写のイメージが少々伝わらなくてもおじさんとしては満足です。この有効画素数約3860万画素のFoveon画質は通常センサーの5000万画素クラスと同レベルかそれ以上の解像感を誇るシャープな画質であります。このポテンシャルをフルに発揮することが出来るのがシグマ専用現像ソフトウェア「SIGMA Photo Pro」。これは誰でもシグマのホームページからダウンロードできるシグマのRAWデータX3Fを現像できるソフトウェアで再生画

像を見ながら各部を調節してゆく簡単操作でFoveon X3ダイレクトイメージセンサーの持つ、深みのあるトーンやグラデーションを再現することが可能になっておりますのでどうかsd Quattro HとセットでRAW撮影をお楽しみください。

このソフトウェアと両方でこそ本領を発揮できます。Foveon X3ダイレクトイメージセンサーゆえに、このセンサーの特性を理解しつつ、描写に適した被写体を吟味できる「通」なヒトだけが楽しめるカメラ……といった評判も遠からず当たっております。しかしながら時代が進むと同時にカメラも進歩しておりsd Quattro Hのように進化したボディであればたいの被写体でも大丈夫。そのうえでドンピシャのモチーフに出会えたなら胸打つ描写間違いなし!ならばいまこそこの素晴らしい描写性能を誇るボディを使ってみるときではありませんか!そこで今回sd Quattro Hと同時にご紹介するレンズはおよそ一般撮影に適している汎用的なレンズとは到底言えない芸に秀でた玄人向けのシグマ135mm F1.8 DG HSM。このレンズは描写性能に特化したレンズラインナップである「Art」シリーズの最新レンズの1本でコンセプトは最新のデジタルカメラの記録する5000万画素以上の記録センサーに対応する解像感と描写力を持ったレンズなのでございます。

そもそも135mmレンズとは本格望遠撮影領域の入門的レンズなのでありますが、比較的扱い易い焦点距離とそのレンズ描写の圧縮効果とF1.8の大口径による大きなボケ味と芯のしっかりしたシャープな描写が特に際立っております。このレンズは最新の設計により軸上色収差の排除を徹底し、コントラストに優れクリアでヌケの良い画質により超高画素時代に突入した5000万画素以上のデジタル一眼レフカメラに対応した最新の設計と素材でシグマの意欲作。まあ、だいたいシーンにおいてオーバークオリティな性能ですから、これで満足しただけなのであれば当方といたしますればもうお客さまにはお引き取り願わないことにはどうにも……いやはや……とサジを投げねばなりません。ま、描写に関してこれで満足できないヒトがいるとは思えませんがねあつや。

なお、シグマにはハイパフォーマンスな「Contemporary」、芸術的表現の「Art」、高い運動性能の「Sports」シリーズを始め多種多様なレンズが揃っておりますので、きっとあなたにぴったりのレンズが見つかるはず!



やっちゃんえ、シグマ!

独特のボタンレイアウトに二画面モニターとシグマの道を貫く姿勢はいちファンとして応援してゆく所存であります。やや独特ながら操作に難しいクセもなく、二画面モニターの右側のサブモニターの点灯、露出、ISO、測光、モードボタンは直感的に操作できる優れモノ。



写真と文 織本知之
20数年間変わらずの携帯電話会社を乗り換えました。妻がiPadを使うのでWiFiファイ加入と同時にアレコレを「こもこも」したのですが、電器店に聞きに行ったらその場でいきおいで決定→即移行してしまつたのでアレコレが消えたり無くなつたり後でタイヘン……。お乗り換えは計画的に。

シグマ sd Quattro H



Foveon X3ダイレクトイメージセンサー(CMOS)
APS-Hサイズ(5100万画素相当)
撮影画角、35mmカメラ換算でレンズ表記約1.3倍の焦点距離に相当
ISO 100~6400
ボディ幅約147×高さ95.1×厚み90.8mm
本体質量約635グラム
価格オープン(ボディ実勢12万5000円前後)
©シグマ 130120-9977-88



このレンズに恋煩い!

135mm F1.8 DG HSM。キレるレンズだとは聞いておりましたがここまでキレッキレだとは思いませんでした。その描写に必要なたっぷりとした上質なガラスのたっぷりとした10群13枚のレンズと堂々の1130gの主砲レンズです。